

教会創立103周年

# 週報

2026年3月22日 5386週

## 【今年度のテーマ・聖句】

「共に喜ぶ」

—ハレルヤ わたしの魂よ主を讚美せよ—

わたしたちの一つの体は多くの部分から成り立っています。すべての部分が同じ働きをしていないように、わたしたちも数は多いがキリストに結ばれて一つの体を形づくっており、各自は互いに部分なのです。（ローマの信徒への手紙12章4～5節）

巻頭言

牧師 加藤英治

### 私に影響を与えてくれた本② ボンヘッファー『共に生きる生活』(新教出版社、1975年)、他

ダイートリッヒ・ボンヘッファーについては、「第二次世界大戦中に、ヒットラーが率いたナチス政権に抵抗し、最後はヒットラー暗殺計画に加わったかどで捕らえられ、処刑され、殉教した牧師・神学者」として知っていました。そういう経歴から、「さぞ、戦鬨的な人だろう」となんとなく思っていたのですが、実際にその著作を読んでもみると、全然違いました。ボンヘッファーは、むしろ大変内省的な性格の人であり、その信仰は極めて純粋な人でした。そのあまりの純粋さに、彼の神学の踏み込みは大変鋭く、また厳しく、時には「ついていけない」と思うほどでした。ただその厳しさの中に、イエス・キリストの恵みが深く籠められていることを強く感じます。

「イエス・キリストは敵のただ中で生活された。最後には、弟子たちも皆、イエスを棄てて逃げてしまった。十字架の上で、彼は悪人や嘲笑者に取り囲まれて全くひとりであられた。彼は神の敵たちに平和をもたらすために来られたのである。だからキリスト者も——敵のただ中であつて生活するのである。」

『共に生きる生活』は、そういうキリスト者が他のキリスト者と共に生きることを許されている計り知れない恵みについて語ります。「キリスト者は、彼の救いと解放と義とを、もはや自分自身に求めず、ただイエス・キリストのもとにのみ求める人間である。——キリスト者は、全く彼に与えられた神のみ言葉によつて生きる。——神は、われわれがその生けるみ言葉を、兄弟の証しを通して、人間の口を通して、求めまた見出すことを求めたもう。だからキリスト者は、彼にみ言葉を語ってくれる〔ほかの〕キリスト者を必要とする。キリスト者は、心が動揺し、気落ちしている時は、いつもほかのキリスト者を必要としている。——彼は、神の救いのみ言葉の担い手、宣教師としての〔ほかの〕キリスト者を必要とする。——自分の心の中のキリストは、兄弟の言葉におけるキリストよりも弱いのである。」

## 日本バプテスト シオン山教会

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

TEL:093-561-0772 Fax:093-561-0760

E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

HP-address: <https://bapzion.com>



# ◆ 主日礼拝

午前 10 時 30 分

司会 下川礼子執事  
奏楽 田中秀一兄

前 奏  
招 詞 エレミヤ 29 : 11 ~ 12  
頌 栄 669 (みさかえあれ(B))  
主の祈り (新生讚美歌の扉を参照)  
交 読 10 (感謝)  
讚 美 215 (暗いゲッセマネ)  
聖 書 マルコ 14 : 32 ~ 42  
(新共同訳 92p 口語訳 77p)  
祈 禱  
子どもメッセージ 加藤英治牧師  
讚 美 229 (十字架のもとに) 聖歌隊  
宣 教 「御心を信じ抜く祈り」  
加藤英治牧師  
祈 禱  
讚 美 216 (栄えの冠を)  
献 金 祈り : 二木榮子姉  
(女性会D班)  
頌 栄 672 (ものみなたたえよ(B))  
祝 禱 加藤英治牧師  
後 奏  
報 告

## ◎今月の聖句

「人の子は仕えられるためではなく  
仕えるために、また、多くの人の  
身代金として自分の命を献げ  
るために来たのである。」  
(マルコによる福音書 10 章 45 節)

## 本日の集会

教会学校

幼小科

10 : 30 ~ 11 : 40

中高科、青年・成人科

9 : 30 ~ 10 : 15

主日礼拝の当番

受付 : 船津丸泰 田中登美子

お花 : 愛の園・こひつじ保育園

会堂清掃 11 : 50 ~ 12 : 05

昼食 12 : 05 ~ 12 : 40

各部会 12 : 40 ~ 13 : 40

定例役員会 13 : 40 ~ 14 : 40

## ◎今週の集会 (3月22日~3月28日)

<聖書> マルコ 15 : 33 ~ 41 3

25日(水) 祈禱会 I 10 : 30

祈禱会 II 19 : 30

(司会・奨励 加藤英治牧師)

## 今週の聖書日課と祈り

22日(日) マルコ 14 : 32 ~ 42	畑間節子
23日(月) テサロニケ I 5 : 16 ~ 18	林田佳代子
24日(火) ローマ 8 : 26 ~ 27	林田義勝
25日(水) 詩編 121 : 1 ~ 8	廣津陽子
26日(木) 詩編 22 : 1 ~ 6	廣津 丈
27日(金) 詩編 51 : 16 ~ 19	廣津丈治
28日(土) マタイ 16 : 13 ~ 15	廣津菜々風